

夏のご挨拶と JSNP 情報 (JSNP 理事長通信)

JSNP 会員各位

大阪北部地震及び西日本豪雨に被災された皆様にお悔やみ及びお見舞いを申し上げます。労力と時間がかかることとは思いますが、早期の復旧、正常化をお祈り申し上げます。

また、神経精神薬理学の発展に大きく貢献され、国際神経精神薬理学会 (CINP) 理事長を務められてノーベル賞をご受賞された、Arvid Carlsson 先生が 6 月 29 日にお亡くなりになりました。Carlsson 先生は、CINP2012 スtockホルム大会での JSNP 主催のジャパンナイトへお越しください、多くの日本人研究者と交流して下さいました (写真 1, 2)。Carlsson 先生とお話してきてますます神経精神薬理学への思いを強くした人は私を含め多いのではないかと思います。Carlsson 先生にあらためて感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

一方、嬉しいお知らせもございます。脳科学関連学会連合 (脳科連) の第 4 期代表に山脇成人先生が選出されました。脳科連は 28 の脳科学関連学会の連合で、その延べ会員数は 96000 人を超えます。このような大きな組織の代表が JSNP から選ばれたことは、大変光栄なことと思います。JSNP が発足当初より基礎と臨床が対等にタグを組んで学会運営を進めてきたことが、脳科連が目指していることと合致していることも、比較的少数の会員数である JSNP から代表が選ばれた一つの理由ではないかとも思います。なお、副代表は、伊佐正先生 (日本神経科学学会) と高橋良輔先生 (日本神経学会) です。

本年の第 48 回 JSNP 年会は、中込和幸先生が年会長をお務め下さり、第 28 回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP) 年会 (年会長: 渡邊衡一郎先生) との合同年会として、2018 年 11 月 14-16 日 (水-金) に東京ドームホテルで開催いたします。一般演題登録締切が 8 月 1 日に延期されましたので、ぜひご発表をご計画いただけますようお願い申し上げます。また、この機会にご関係で神経精神薬理学分野でのご研究をされている方がいらっしゃれば、ぜひご入会とご発表を呼び掛けていただければ嬉しく思います。なお、事前参加登録締切は 9 月 28 日 (金) です。こちらもお早めにお手続きいただければ幸いです。

2019 年は、10 月 11-13 日 (金-日) に福岡国際会議場で行われ、第 49 回 JSNP 年会長は宮田久嗣先生がお務め下さります。第 6 回アジア神経精神薬理学会 (AsCNP) 大会 (大会長: 池田和隆、副大会長: 下田和孝先生、染矢俊幸先生) と第 29 回 JSCNP 年会 (年会長: 吉村玲児先生) との同時開催となります。AsCNP2019 に関しましては、今月中にシンポジウムの公募を開始し、10 月末日を締め切りとする予定ですので、ぜひシンポジウムをご企画、ご提案いただけますようよろしくお願い申し上げます。協賛企業による招聘で、Stephan M. Stahl 先生、Herbert Y. Meltzer 先生、Bernhard Baune 先生、Roger McIntyre 先生にお越しいただけることも内定いたしました。ぜひ日程を確保していただけますようお願い申し上げます。

2020 年は JSNP 設立 50 周年の記念すべき年会となります。4 月にお知らせいたしましたように、大隅典子先生に年会長をお引き受けいただいています。また、日本生物学的精神医学会 (理事長: 尾崎紀夫先生)、日本精神薬学会 (理事長: 吉尾隆先生) との合同年会として、それぞれ年会長は吉川武男先生と吉尾隆先生がご担当下さります。会期は 8 月 21-23 日 (金-日) を予定しております。

2018、2019、2020 年のいずれの年会も何卒よろしくお願い申し上げます。

2018 年 6 月 16-19 日にウィーンで開催された CINP 世界大会には、多くの JSNP 会員の皆様にご参加いただきまして、誠に有難うございます。全体の参加者数は 1200 名ほどで、その約 20% が日本人で、国別参加者数で第 1 位だったようです。国際学術委員会 (新田淳美委員長)、学術賞選考委員会 (曾良一郎委員長)、広報委員会 (橋本亮太委員長) の 3 つの委員会が連携して、JSNP Excellent Presentation Award for CINP2018 の選定と授賞式、およびアジアナイト (幹事: 北市清幸先生) が開催されました。鍋島俊隆先生の篤志を基に、今回より、国際学会での JSNP Award の第一位の方には鍋島賞を授与することとなりました。今回は、放射線医学総合研究所の久保田学先生がめでたくご受賞されました (写真 3)。アジアナイトの準備にも多くの皆様にお手伝いいただきまして、誠に有難うございます。アジアナイトは CINP の公式行事となって、230 名を超える出席者となり、アジアのプレゼンスを大きく示すことができました (写真 4)。次回の世界大会は、2020 年 6 月 25-28 日に台北市で行われます。ぜひご予定いただけますようお願い申し上げます。

執行委員会（委員長：池田）では、月に一度スカイプか対面式での会議を続けております。精神神経学会からのサブスペシャルティに関するヒアリングを受け、JSCNP と合同検討委員会を発足させました。早速 6 月 21 日に第一回委員会が開催されており、ガイドラインを踏まえた専門医制度の構築にも貢献できるように取り組んでおります。

総務委員会（山田清文委員長）では、2 年ごとの役員選挙の準備を進めています。評議員の先生方には被選挙者の確認の郵便が届いていることと思います。今後の選挙へもご協力をよろしくお願い申し上げます。また、賛助会員を法人会員と改め、ベネフィットを明確化して参りましたが、その後数社のご入会がありました。今後本学会がますます産学連携の場となることを願っております。

当学会の新機関誌の Neuropsychopharmacology Reports へのご投稿数も順調に伸び、6 月 26 日の執行委員会時点で既に 30 報のご投稿となっていると宮川剛編集委員長からの情報がありました。アクセプト数も既に 20 報とのことです。ぜひ今後ともご投稿をよろしくお願い申し上げます。

また、6 月 17 日にウィーンで行われた AsCNP 役員会議で、Neuropsychopharmacology Reports が AsCNP の Associate Journal となることが承認されました。韓国神経精神薬理学会（KCNP）の Clinical Psychopharmacology and Neuroscience に次ぐ、AsCNP の 2 つ目の Associate Journal となります。

なお、メール配信でお知らせいたしましたように、今後のジャーナルの編集方針につきまして学会 Facebook ページにて学会員の皆様のご意見を募集しております。ご意見、ご質問など奮ってご投稿いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

・クオリティの担保について：<https://bit.ly/2KWmKNT>

・IF についての考え方について：<https://bit.ly/2KAe3wq>

統合失調症薬物治療ガイドラインタスクフォース（石郷岡純委員長）では、ガイドラインの改訂を目指して、タスクフォースメンバーを募集し、改訂体制を整えつつあります。また、ガイドラインの英文化の可能性も検討しております。

不安症治療ガイドラインタスクフォース（井上猛委員長）では、精神神経学会のガイドライン検討委員会と意見交換を実施し、ガイドラインが法的な状況で使用される場合も踏まえたリーガルチェック等に関して、精神神経学会と連携して進めることとなりました。

PPPs タスクフォース（山脇成人委員長）の活動も活発に行われており、厚生労働省や PMDA、製薬協などとの会議を継続しております。

TMSC 委員会（中込和幸委員長）では、新たな症状評価システムの構築が検討されています。また、臨床研究法の施行を踏まえ、学会としての対応を検討しております。

他の委員会やタスクフォースでも着々と活動が続けられております。今後もより良い学会運営とするため、ぜひご意見、ご提案を理事や該当の委員会委員長、事務局へご連絡いただければと思います。

最後に、関連 URL を以下に記載いたします。

JSNP 入会手続きのウェブページの URL は以下です。

<https://feb.db-boss.com/asas/user/regist.asp?sid=641>

JSNP の Facebook ページの URL は以下です。

<https://www.facebook.com/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E7%A5%9E%E7%B5%8C%E7%B2%BE%E7%A5%9E%E8%96%AC%E7%90%86%E5%AD%A6%E4%BC%9A-1622874974671852/?fref=ts>

では、どうぞ引き続き JSNP 学会活動にご参加、ご理解、ご支援をいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年7月
一般社団法人 日本神経精神薬理学会
理事長 池田 和隆



写真1：2012年CINP世界大会でのジャパンナイトの集合写真（前列中央がカールソン先生）



写真 2 : 2012 年 CIMP 世界大会でのジャパンナイト
(参加者と交流されたカールソン先生)



写真 3 : 第一回鍋島賞授賞式
(学術賞選考委員長の曾良一郎先生と受賞者の久保田学先生)



写真 4 : CIMP2018 ウィーン大会におけるアジアナイトの集合写真